

上空にこの冬最大の寒気が近づき、東山の森は数日内の降雪を予感させる冷たい空気に包まれていました。20年以上続いていた芋煮会は中止という形で、新型コロナウイルスに振り回された1年の終わりを迎えました。

持ち込み観察項目：カマキリのサングラス、ハマダラハルカのプリントと切り紙と標本、リュウグウヒメテントウとカグヤヒメテントウが記載された本

まず新池から除去したスイレンの根を観察しました。スイレンは1年で1mを超える根を張り、池一面に葉を茂らせるので池を利用する生き物にとっては迷惑な存在です。中道を歩き始めてすぐ目に入った白いサギは、飛び立った時に足の指が黒いのが見えチュウサギであることが判りました。中道沿いのツバキでは越冬中のウラギンシジミを観察しました。去年も同じ木でウラギンシジミが越冬していたのを思い出しました。



新池のスイレンの根



チュウサギ



越冬中のウラギンシジミ

中道を少し進んだところでコナラの樹皮に集まっているクリオオアブラムシを子どもが見つかりました。翅のないのはメスで無数の卵も確認できました。メスはつやのない黒、卵はつやのある暗褐色をしていました。近くには翅を持ったオスも見られました。そのすぐ近くで小さなミノムシを見つけた子どももいました。



クリオオアブラムシの♀と卵



クリオオアブラムシの雄



ミノムシ

畑では土の中に混ざった小石をふるいで取り除いて柔らかい土を作る作業をしていました。近くのU字溝では虫好きの参加者たちが積もった落ち葉をひっくり返してその中に潜むゴミムシの仲間を次々と捕らえていました。落ち葉の山から出てきたゲジの足の数を数えてみたところ14対まで数えることができました。



畑の土づくり



ゴミムシの仲間



ゲジ

堆肥を作っている場所の近くでカブトムシの幼虫の死骸が見つかりました。死んだ理由はわかりませんでしたが、土の上にフンがある場所を掘るのが幼虫を見つけるコツと教えられた子どもたちが、ほかにもいなか熱心に探していました。小さな花をつけた植物が紹介され、ハキダメギクという名前を聞いてかわいそうという声があがりました。参加者の一人が落ちていた朽木を割って、コクワガタの幼虫を探し出しました。



カブトムシの幼虫探し



ハキダメギク



コクワガタの幼虫



ソシンロウバイの木を観察すると、つぼみはすでに黄色く色づき、少し膨らみ始めているようにも見えました。今年の偽果は風化が進み中が透けて見えました。手に取って振るとカラカラと音がして、中を開けるとたくさんの種が入っていました。何かに食べられている種もあり、よく見ると小さなイモムシがくっついていました。



ソシンロウバイのつぼみ



ソシンロウバイの偽果



ソシンロウバイの種

シキミの木を観察しました。図鑑によれば花の時期は3~4月とのことですが、高い位置の枝にいくつかの花が咲いていました。そして果実には毒があることが紹介されました。目の高さの葉の裏には小さなシキミグンバイの成虫が見られました。シキミグンバイはカメムシの仲間で、成虫も幼虫もシキミの葉の汁を吸って生活するそうです。道端のイロハモミジは美しく色づいた葉がまだまだ残っていて、参加者の目を愉ませてくれました。



シキミの花



シキミグンバイ



イロハモミジの紅葉

冬越しをする昆虫を探して雑木林の中に入ると、センリョウやマンリョウの赤い実が目立ちました。センリョウの仲間には黄色い実をつけるキミノセンリョウがあり、数は少なめながらところどころで見られました。またタカノツメの黄葉もあちらこちらで目に入りました。倒木を動かすと、湿った土の上でヒメタイコウチが越冬していました。同じ木の下に何頭も見つかり、越冬に適した条件が整っているのだろうと参加者が話していました。



キミノセンリョウ



タカノツメの黄葉



越冬中のヒメタイコウチ

この日は前日に見つけた越冬中のタテジマカミキリを紹介しようとした参加者がいたのですが、朝方の雨のせいかわ、いなくなっていました。そのためみんなで探してみようということになり、まずタテジマカミキリの食草であり越冬の場所にも選ばれるカクレミノの特徴を覚えめました。そして森の中でカクレミノを探し、そこにタテジマカミキリがついていないか次々と見て回りました。探すときの目印である食痕はいくつか見られたものの、なかなかカミキリは見つからず諦めムードが漂い始めた頃、別の場所で探していた参加者から連絡が入り、みんなで移動しました。しかし見つかったのは残念ながらポーベリア菌に侵されて絶命したタテジマカミキリでした。



カクレミノ



タテジマカミキリの食痕



ポーベリア菌に侵された  
タテジマカミキリ

平和公園での観察項目(観察順): 新池のスイレンの根,ガ?のまゆ,チュウサギ,カワセミ,ウラギンシジミ(越冬中),ツバキ,クリオオアブラムシ,ミノムシ,ゴミムシの仲間,モリチャバネゴキブリ,ゲジ,ソシンロウバイのつぼみ,ソシンロウバイの偽果,ソシンロウバイの種,クモの仲間,死んだカブトムシの幼虫,クロスジフユエダシャク,クロゴキブリの卵鞘,畑の土づくり,ハキダメギク,コミカンソウ,コクワガタの幼虫,シキミの花,シキミグンバイ,イロハモミジの紅葉,マンリョウ,センリョウ,キミノセンリョウ,カヤツリグサの仲間,コシアブラの黄葉,カクレミノ,タテジマカミキリの食痕,ポーベリア菌に侵されたタテジマカミキリ,ヒメタイコウチ(越冬中)